

アンソロジー『現代生活語詩集 2022・地球』

に奮ってご参加ください！

2022年3月吉日

詩のことばにマスクはいらない！
今こそ地球と郷土に生活語詩のパワーを！
人新世にふさわしい詩人の饗宴を！

全国生活語詩の会 監修 有馬 敲
代表 永井ますみ

発行所 俳竹林館
事務局 左子真由美
〒530-0044 大阪市北区東天満2-9-4
千代田ビル東館7階FG
Tel:06-4801-6111 Fax:06-4801-6112
E-mail:home@chikurinkan.co.jp

前回の現代生活語詩集2020年の募集時に「新型コロナウイルスは戦後最大の危機の到来か？」と記しましたが、2022年になりましてもその危機感は拭い去れません。

生活語詩運動は、単に「生活に即した地域語で書く」いうことに留まらず、自分に根ざしながら自分を超えて「他の命」に届けようとするところの、ほんとうの言葉＝「詩」の復権を目指したコンセプトに基づくものであります。

コロナ禍においてさらに個は孤立し、地域は閉塞しつつあるという状況があります。このような荒廃しつつある世相の現在においてこそ、命の連帯を志向する「生活語詩」の本領を発揮できるのではないかと考え、テーマを「地球」とし、2022年の募集をいたします。

いかなる人生の足元にも「地球」があります。命の礎である地球を踏みしめて、皆様の自由な発想で思う存分、詩を書いていただければと思います。素直に野の花の美しさなどを詠ってもよし、地球温暖化や環境破壊、そしてパンデミックなど文明が関与する危機などに思いを馳せてもよいかもしれません。

趣旨ご賛同の上、あなた様にぜひご参加いただきたく、編集委員一同、玉稿をせつにお待ちいたしております。

また、アンソロジーを出版して終わりというのではなく、この運動を広く周知していただくためにも先年のように、出版記念「大朗読会」を開催したいと考えておりましたが、新型コロナの影響により、開催を延期しております。この生活語詩集の発行後、2023年には岩手県北上市「日本現代詩歌文学館」にて開催したいと考えております。来年こそぜひ北上市でお目にかかりましょう。

記

- (1) 書名 全国生活語詩の会編『現代生活語詩集 2022・地球』
- (2) 仕様
 - ① 四六判（日本国内出版コード付）ソフトカバー装帯付。
 - ② 原則として2頁で本文合計65行以内（二段組・題名3行を含む・1行22字）詩集2冊進呈。既発表可。原稿はA4サイズ厳守。
 - ③ 作品及び申込書はメールにて送付も可。その場合、紙原稿の送付は必要ありません。
★メール送り先 sakomayumi0313@nifty.com
- (3) 締切 2022年4月末日
- (4) 著者校正 1回
- (5) 刊行予定 2022年10月末頃
- (6) 申込先 竹林館気付 全国生活語詩の会（別紙参加申込書と同時に作品原稿を同封ください。）
- (7) 参加費 編集委員会で採否決定作品 一人二頁 12,000円
採否決定後（5月中旬頃）、請求書と振替用紙をお送りさせていただきますので、その後お振り込みください。
（作品の最終的な諾否は編集委員会にご一任ください。）
- (8) 全国生活語詩の会編集委員会（五十音順）
監修 有馬 敲／代表 永井ますみ／北海道 村田 譲／東北 斎藤彰吾
関東 黒羽英二・佐相憲一／北陸 金田久璋／中部 こまつかん／関西 榊 次郎
中国 洲浜昌三／四国 牧野美佳／九州 働 淳／沖縄 ムイ・フユキ
および全国各地に編集協力者数名 以上